



消費者の節約志向やエコ意識の高まりとネット中古品売買普及による抵抗感の薄れで古着市場が拡大する中 毎週水曜日に値下がりし続けるおもしろ古着店『ドンドンダウン オン ウェンズデイ』

5月28日(土)、貝塚店がオープン

株式会社ドンドンアップ

毎週水曜日に商品が10段階で値下がりし、どんな服でも全て断わりなしで買い取り、店頭に出せない衣類や売れ残った衣類は一切廃棄せず東南アジアやアフリカに輸出して環境配慮活動を行うなど独自のビジネスモデルで国内60店舗、海外8店舗をチェーン展開している古着店「ドンドンダウン オン ウェンズデイ(以下、ドンドンダウン)」を運営する株式会社ドンドンアップ(本社:岩手県盛岡市、代表:岡本昭史)と、業務提携契約している株式会社シー・アイ・シー(本社:群馬県高崎市東貝塚町1-16-1 代表:太田伸一)が、来る5月28日(土)、家電アウトレットショップ「ヤマダ電機アウトレット門真店」に併設するかたちで、「ドンドンダウン オン ウェンズデイ 貝塚店」をオープンいたします。ドンドンダウンとしては大阪府内5店舗目、シー・アイ・シーとしてはドンドンダウン10店舗目となります。

■消費者の意識の変化と市場動向

古着ビジネスは2005年頃から急成長してきました。長引く不況による消費者の節約志向やエコ意識の高まりに加え、ネットでの中古品売買普及による抵抗感の薄れが後押ししてきました。

こうして40代半ば～後半の団塊ジュニア世代を中心に、自己表現アイテムとして「古着MIX」(流行の服に古着を合わせて楽しむ)が若者世代に定着し、さらに「流行の服を新品で買うには勇気がいるが中古品なら失敗してもいいや」というお試し感覚で買い物をする40～50代の中老年代に客層が広まってきています。

とはいえ、日本の衣類は回収したうち約74%が焼却処分され、リユースにまわるのは約13%程度と言われており[調査:(独)中小企業基盤整備機構]、韓国のリユース率80%、ドイツの50%、米国の25%と比べると著しく低く、古着後進国と言えます。

そこで不要な服を再利用する仕組み、市場に還流させるインフラとして古着リユース業態がその一翼を担う存在となりました。記事によりますと、古着市場は現在およそ3,000億円に達し、ここ5年で2倍に拡大しており(日経MJ)、さらに将来的には8,000億円まで伸びる可能性があるとされています(船井総合研究所)。

例:アナタが欲しい商品が「にんじんタグ」の場合

1週目

今週の値段表
7,000円(原価)
5,000円(原価)
4,000円(原価)
3,000円(原価)
2,000円(原価)
1,500円(原価)
900円(原価)
500円(原価)
300円(原価)
100円(原価)

毎週水曜日
ドンドン
値下がり!

2,000円

気になる洋服発見!
来週の水曜日まで
待ったら安く
なるのかな?

2週目

今週の値段表
7,000円(原価)
5,000円(原価)
4,000円(原価)
3,000円(原価)
2,000円(原価)
1,500円(原価)
900円(原価)
500円(原価)
300円(原価)
100円(原価)

毎週水曜日
ドンドン
値下がり!

1,500円

残ってた～!!
来週まで待つと
900円になるから
待ってみよう!!

3週目

今週の値段表
7,000円(原価)
5,000円(原価)
4,000円(原価)
3,000円(原価)
2,000円(原価)
1,500円(原価)
900円(原価)
500円(原価)
300円(原価)
100円(原価)

900円

すこーい!!2,000円だった洋服が
待って900円になっちゃった!!
待った甲斐があったな～★

他のお客様に先に購入されなければ...
値下がり続けて最終的には

100円
で
ゲットできます!!

■ドンドンダウンの特徴

(1) 毎週水曜日に値段が10段階でドンドンダウン

ドンドンダウンの商品タグは2種類あります。ひとつは野菜や果物のイラストが描いてある通称「野菜タグ」。もうひとつは、値段が記載された「青タグ」です。

野菜タグの商品は、毎週水曜日に値段が10段階でドンドンダウンします。(上図参照)これにより、お客様は、気に入った商品を今買うか、安くなるのを待つか、待っている間に他の人に取られてしまうかを判断しなければならず、ワクワクドキドキ、ゲーム感覚で駆け引きを楽しむこととなります。お客様が価格を決める「逆オークション」と言えます。古着の価値観は人によって異なりますので、価値や値段を売り手だけで決めるのではなく、買い手に見出して

もらおうという仕組みだとも言えます

なお、青タグの商品は、当社指定ブランド及び買取強化ブランドの衣類や服飾雑貨で、こちらのほうの値段は一定ですが、これも毎週水曜日に20%offになります。

(2) ドンな服でもドンドン買取 -買取率 100%-

ドンドンダウンでは、お客様から持ち込まれた衣類を全て断り無しで買い取っています。一部のブランドアイテムについては1点毎の査定です。そのほかの特に人気のある衣類は500円/kg（毎週月・木曜日は1.5倍の750円/kgで買い取る特別日）、一般の衣類は50円/kg、店頭に出る予定がなく海外に輸出する衣類は10円/kgと重さによる量り買いとなっています。

古着店に限らずほとんどのリサイクルショップでは、売れそうにないものは買い取りを断るのが普通です。多くの方はそうした経験があり、億劫になってタンスの肥やしのままになったり、廃棄してしまったりしているようです。当店では全品買い取りですから、そのような不快な思いや面倒な思いをさせず、結果、多くのお客様が気軽に古着を持ち込んでいただけます。

(3) 店舗で販売できない状態の商品を海外輸出

買い取った古着のうち店舗で販売できない状態の商品や売れ残った商品は、廃棄することなく、一旦、国内の倉庫に集め、マレーシアの提携業者に輸出しています。そしてその提携業者は、商品を仕分けて、さらに東南アジアやアフリカなど20カ国以上に輸出しています。

日本の古着は、着古した欧米品などよりも高品質でデザイン性も高いため、現地ではとても人気があります。また、損傷が激しいものでも「ウエス」や「反毛材」として再利用される為、廃棄するものはほとんどありません。

ただ当社では、圧縮梱包や輸送で費用がかかるため、まだまだビジネスとして大きな収益を上げるには至っていません。それでも、廃棄処分代がかからず、ゴミ問題など環境負荷の低減につながると考え、社会貢献の意識で実施しています。この事業を店頭やチラシ、ホームページなどで一般に知らせ、古着リユースが環境や人の役に立つものだという共感の醸成に努めています。これによって当社の買い取り量を増やすことにもなります。

なお、2014年度には約6,700トンの衣類を買い取り、その内約67%をマレーシア工場に輸出いたしました。

■新店舗概要

店舗名： 「ドンドンダウン オン ウェンズデイ貝塚店」
運営会社： 株式会社シー・アイ・シー
(本社:群馬県高崎市東貝沢町1-16-1 代表:太田伸一)
オープン： 2016年5月28日(土)
所在地： 〒597-0021 大阪府貝塚市小瀬1-30-23
ヤマダ電機アウトレット貝塚店内
電話番号： 072-886-6010
営業時間： 10:00~21:00 / (買取受付: 10:00~20:00)
定休日： 元旦
立地種別： ロードサイド
物件形態： 商業施設内
取扱商品： メンズ・レディース・キッズ古着、ブランド古着・服飾雑貨(靴・バッグ・アクセサリ等)
特徴： 家電アウトレットショップ「ヤマダ電機アウトレット 貝塚店」に併設
店舗URL： <http://dondondown.com>



■会社概要

商号： 株式会社ドンドンアップ
創業： 1991年7月 設立： 1997年8月
代表者： 代表取締役 岡本昭史
所在地： 〒020-0024 岩手県盛岡市菜園1-3-6 2F TEL:019-621-8250 FAX:019-621-8230
資本金： 491,961千円(2015年3月現在) 従業員数： 164名(2015年9月現在)
店舗展開： 1都1道2府22県及び1外国に58店舗(直営10店舗/FC56店舗)(2016年5月1日時点)
会社URL： <http://dondonup.jp>

つきましては、この「ドンドンダウン オン ウェンズデイ貝塚店」を貴局視聴者に紹介いただきたく、またご取材賜りたく、ご検討の程よろしくお願ひ申し上げます。

この件に関するお問い合わせ先
株式会社ドンドンアップ 東京支社 広報担当 工藤知世
Mobile: 080-4104-4395 Email: kudou.tomoyo@dondonup.jp